

令和２年度 練馬区立学校の適正規模・適正配置検討委員会（第１回）	
開催日時	令和２年12月15日（火）１４時30分～15時30分
開催場所	練馬区役所本庁舎12階 教育委員会室
出席委員	10名
欠席委員	2名
次 第	1 開 会 2 委員委嘱 3 委員長専任 4 委員紹介 5 案 件 (1) これからの学校施設の維持・管理について
■ 要点録	
委員	○ 標準化の考え方に異論はないが、児童生徒数の状況や国が示している少人数学級の考え方等を踏まえ、教室数が不足することのないよう改築を実施していくべきである。 ○ 今回は、今後の改築における標準化の考え方が示されているが、本校のように教室確保等が必要な改築済または未実施の学校の扱いについても、標準化に取り入れるべきではないか。
委員	○ 今回お示している標準化案では、今後の児童生徒数の推計をベースに普通教室数や延床面積を決めている。標準化以前に改築した学校についても、普通教室数は同様の考え方である。 ○ 一方で、児童生徒数は都の推計に基づいており、５年間分であるため、それ以降の推計やマンション等建設による突発的な児童生徒数の増加を予測することは難しい。 ○ 教室数等の確保が必要な学校を、標準化の中で一定のルール付を行っていくかどうかは今後検討していく。
委員	○ 概ね年２校ずつ改築となっているが、こういった考え方に基づいて順番を決めているのか。 ○ コンクリートの状況等により可能な施設については長寿命化（８０年利用）するというのが、具体的な校名を教えてほしい。

委員	○ 区全体で、施設の目標使用年数を80年としており、コンクリートの状況等により長寿命化に適さない建物については、築60年を目途に改築することとしている。 ○ 改築の考え方については、築年数やコンクリートの状況のほか、児童生徒数の動向や避難拠点としての役割など、様々な要素を総合的に考慮し決定することとしている。 ○ 長寿命化についても改築と同様に、様々な要素を総合的に考慮し決定する必要があるため、具体的な校名については、順次、公表することとなる。
委員	○ 今後の学校改築においては、水道の自動化など、感染症対策を踏まえた設計や設備を盛り込む必要があると思う。 ○ 今年度中にタブレットが児童生徒に一人一台配付されるということで、これまでよりも子どもたちの荷物が増えるため、教室内にその分の収納スペースを設ける必要があると思う。 ○ 防災の観点からは、感染症対策や地域利用を踏まえ、体育館（倉庫を含む）や備蓄倉庫等の面積を検討したほうがよい。また、水害対策を踏まえ、校庭の水はけや学校周辺の道路に学校からの水がどのように出ていくのかといった点も考慮すべきだと思う。
委員	○ 意見として受け取らせていただく。
木村委員長	○ 今回示したのは、延床面積等が中心であったが、電源の容量や換気設備などの設備面についても検討していく必要がある。
委員	○ 標準化案におけるパソコン教室の考え方を教えていただきたい。 ○ 現在、中学校では、木工室と金工室に分かれている学校もあるが、標準化案の中ではどのように考えるのか。 ○ 学年規模で集まれるような多目的室やオープンスペースは有効なスペースだと思うが、標準化案の考え方はどうか。 ○ 特別支援学級は個別対応が必要になってくるため、部屋数が必要になってくるが、どの程度確保できるのか。
委員	○ パソコン教室について、近年の改築校では、パソコン室と図書室を仕切り等で区切る形となっているが、今年度中に、一人一台のタブレットが配備されることを踏まえ、学校の先生方等から意見を頂きながら、今後のパソコン教室のあり方について、検討を行っていく。

	○ 木工室および金工室について、標準化案の中では、技術科室として、2つの部屋を兼ねた面積を確保している、なお、準備室や作品保管庫については、別途設ける方向で検討している。 ○ オープンスペースや廊下等の共用部分の考え方については、全体の教室の面積の約40%を上限としている。実際の運用では、教室配置等の工夫を加えながらスペースを確保していくことになると思う。 ○ 特別支援学級については、特別支援の種類や各学校の状況、および人数等に応じて、個別に対応していく方向になると思うが、特別支援教室については、標準化の中で、全校一律に設定していく。
木村委員長	○ 金工室と木工室は兼ねることができるのか。
委員	○ 金工室と木工室では使用する機械が異なるため、一部屋であれば、仕切りは必要だと思う。面積については、2部屋分必要である。
委員	○ 普通教室について、子どもたちは、習字の道具や絵の具、体操着、上履き袋などを使用するため、ロッカーの収納スペースを大きく確保していただきたい。また、タブレットも導入されるため、充電保管庫の設置スペースもあるとよい。 ○ 給食室の搬入口について、可能であれば学校全体と給食室でセコムを別々にしていただきたい。 ○ 体育館について、避難拠点、避難スペースになるため、可能であればマットや跳び箱、グランドピアノが入るような器具庫のスペースを確保していただきたい。 ○ 校舎内の更衣室について、可能であれば男女別々にあるとよい。難しければ、男女を仕切るカーテンは設置してほしい。
委員	○ 給食室については、現状もセコム対応は学校全体と給食室で分けており、今後の改築校についても継続していく。 ○ 体育館の器具庫については、マットや跳び箱等が収納できるスペースは確保していく予定だが、グランドピアノが入る大きさを確保できるかどうかは検討する。 ○ 普通教室、更衣室については、意見として受け取らせていただく。
委員	○ 本校は改築済だが、多目的室や小中交流教室等、使い勝手の良いスペースが多いため、これから改築する学校の参考にしていいただければと思う。

木村委員長	○ 今後改築する学校は、延床面積の上限を設けつつ、教育活動を充実させる必要があるため、先生方の意見を頂きながら、1つの部屋で複数の機能をもたせる等の工夫を加えなければならない。
委員	○ 子どもたちの健康や感染症対策を踏まえ、従来よりも、トイレや水道の数は少しでも多いほうがよいと思うので検討していただきたい。
木村委員長	○ 感染症対策に向け、自動水栓化を進め、換気についても、より効率のよい方法を引き続き検討していく。 ○ 少人数学級における国の動向を踏まえ、教育環境を確保しつつ、どこまでコンパクトな施設としていくか、頂いたご意見を踏まえ検討していく。
委員	○ 子どもの荷物の量が多いため、普通教室の収納スペースについては、検討していただきたい。 ○ 改築の際は、避難拠点としての機能など、地域の声はどのように反映されていくのか。 ○ 体育館が2．3階に設置されている学校の対応はどのように考えているのか。
委員	○ 普通教室の収納スペースについては、意見として受け取らせていただく。 ○ 地域の方からは、会議室や体育館の利用など、基本設計の段階で、ご意見を伺っている。 ○ 改築する学校の体育館については、避難拠点としての役割を踏まえ、1階に設置していく。